

# 平成30年度 水道事業会計当初予算

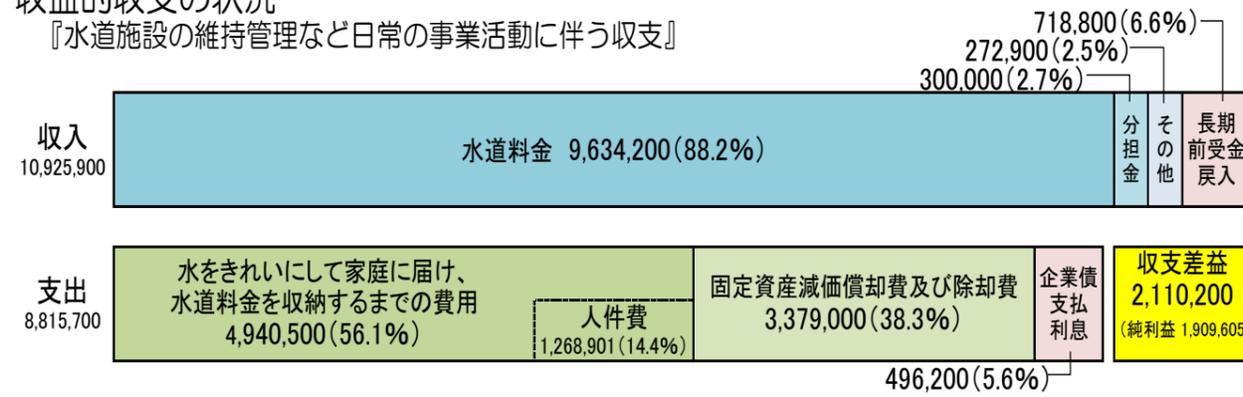
《金額の単位は千円》

資料③-2

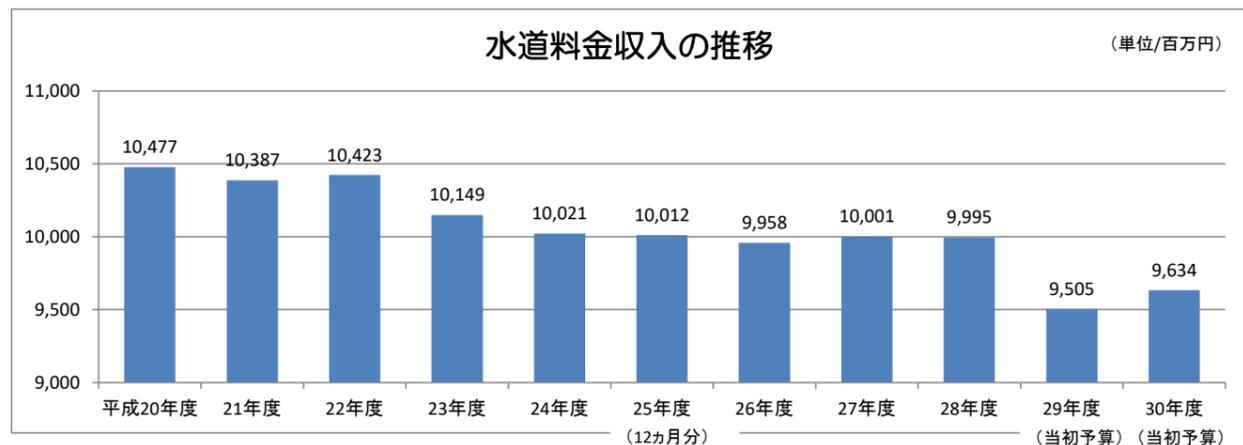
総事業費 16,445,000 (平成29年度当初 17,195,000 : 750,000 減 △4.36%)

## 収益的収支の状況

『水道施設の維持管理など日常の事業活動に伴う収支』

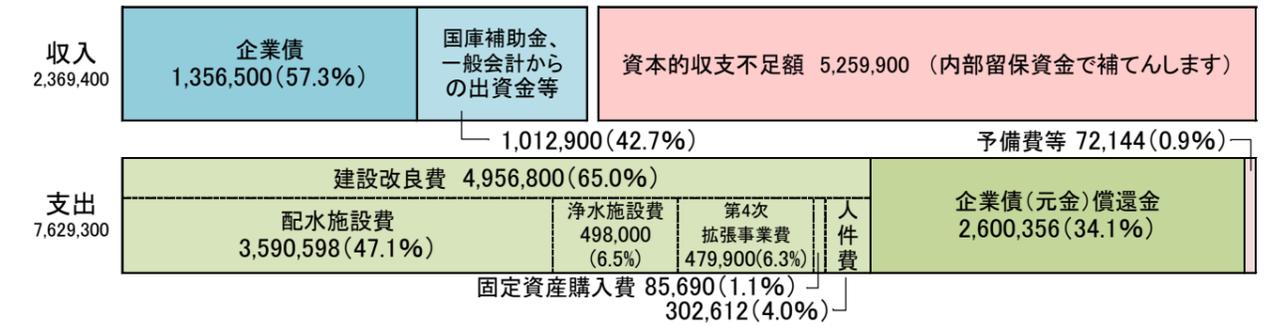


収支区分	平成30年度当初	平成29年度当初	増減額	説明
収入 (事業収益)	10,925,900	10,837,400	88,500	
水道料金	9,634,200	9,505,298	128,902	富士見が丘団地編入：110,000、船舶給水：10,000 大口利用者の特別料金制度：8,000
分担金	300,000	300,000	0	
長期前受金戻入	718,800	713,400	5,400	補助金等固定資産取得財源の減価償却見合い分の収益化額 (現金収入を伴わないため補てん財源とはならない)
その他	272,900	318,702	△ 45,802	下水道使用料徴収手数料の減：△99,400 他会計負担金の増：46,561 固定資産売却益の増：8,950
支出 (事業費)	8,815,700	8,691,000	124,700	
人件費	1,268,901	1,330,243	△ 61,342	正規118人(上下水道事業組織統合による減 △2) 再任用34人(+1)、嘱託9人(+3)
原水及び浄水費	1,331,893	1,228,700	103,193	主要浄水場再構築基本計画策定業務委託：50,000 請負工事費の増：50,848
配水及び給水費	1,164,430	1,223,873	△ 59,443	請負工事費の減：△72,428
業務費	461,772	452,189	9,583	水道料金関連総合業務委託 (A区)：17,711
総係費	361,314	331,595	29,719	富士見が丘団地編入に伴う境界確認委託：20,000 全局ネットワーク機器リース料：19,336
企業債支払利息	496,200	568,750	△ 72,550	企業債残高の減少に伴うもの
固定資産減価償却費及び除却費	3,379,000	3,314,000	65,000	前年度建設改良費の償却開始による増
その他	352,190	241,650	110,540	消費税及び地方消費税の増：100,000 固定資産売却損の増：10,540
純利益 (消費税抜き)	1,909,605	1,798,781	110,824	※収入の長期前受金戻入を除いた額が実質的な利益となるため、実質の純利益は1,190,805となる

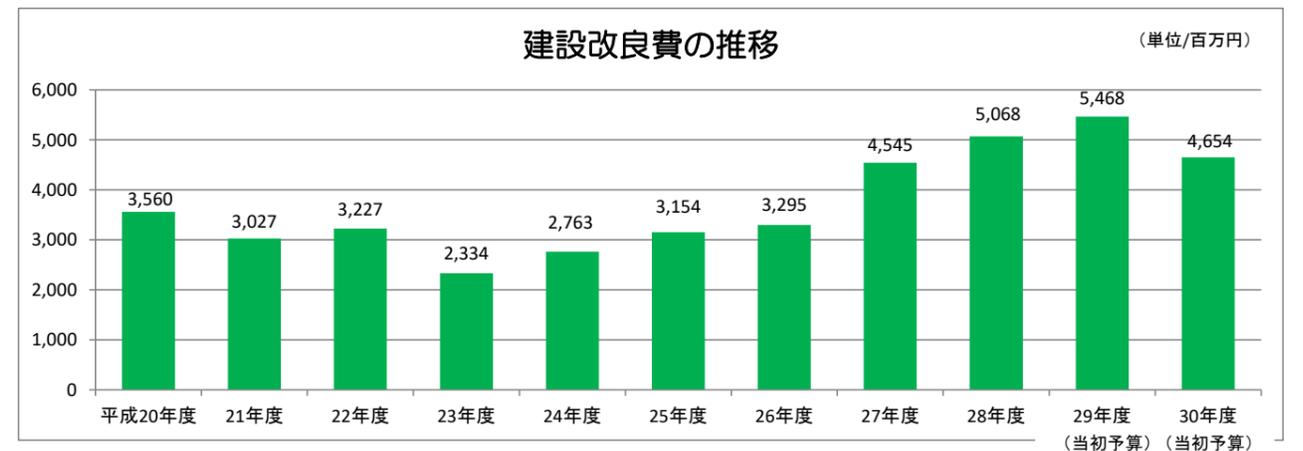


## 資本的収支の状況

『水道施設の建設・改良などの投資にかかる収支』



収支区分	平成30年度当初	平成29年度当初	増減額	説明
収入	2,369,400	2,969,000	△ 599,600	
企業債	1,356,500	1,973,800	△ 617,300	大分川ダム建設工事負担分の減：△179,100 建設改良事業分の減：△438,200
固定資産売却代金	15,134	16,300	△ 1,166	遊休資産(土地)等の売却代金 (車両4台、旧ポンプ用地2箇所、高架水槽用地1箇所)
工事負担金	130,000	138,200	△ 8,200	公共関連事業の減に伴う他会計負担分の減
補助金	159,966	339,000	△ 179,034	大分川ダム建設工事負担金に係る国庫補助金等の減
出資金	707,800	501,700	206,100	災害対策事業費(森岡山、高崎配水池等の整備)の増
支出	7,629,300	8,504,000	△ 874,700	
人件費	302,612	341,446	△ 38,834	正規35人
建設改良費	4,654,188	5,467,954	△ 813,766	大分川ダム建設工事負担金の減：△537,100 横尾浄水場監視制御システム更新工事：△310,000
企業債償還金	2,600,356	2,590,145	10,211	元利均等償還が進んだことによる増
返還金	22,144	54,455	△ 32,311	消費税計算上の特定財源割合が5%以下となったことによる国庫補助金の消費税相当額の返還
予備費	50,000	50,000	0	
資本的収支不足額 (△)	△ 5,259,900	△ 5,535,000	△ 275,100	



大分市水道事業基本計画の目標実現のための主な取組

建設改良費 4,654,188

1 安全な水道水の供給（安全） 537,864

- 古国府浄水場コントロール設備更新工事 234,000
- 古国府浄水場取水ポンプ設備更新工事 100,000
- 横尾浄水場監視制御システム更新工事 90,000 等

2 危機管理への対応の徹底（強靱） 3,354,438

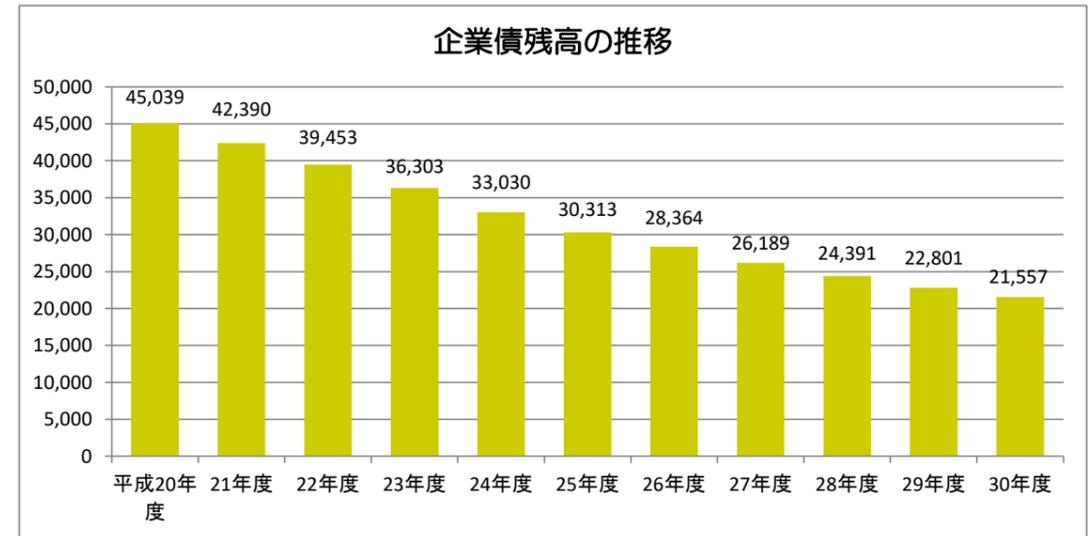
- 森岡山配水池築造工事 348,000
  - 高崎配水池増設工事 300,000
  - 森岡山配水池～横尾導水ポンプ所連絡管布設工事 285,088
  - 配水管（老朽管）更新事業 403,100
  - 給水不良地区解消事業 337,700
  - 公共事業関連事業 927,000 等
- } 1,667,800  
(布設替延長：5,138m)

3 水道サービスの持続性の確保（持続） 761,886

- 大分川ダム建設工事負担金 479,900
- 佐柳ポンプ所・配水池統廃合工事 26,300 等

企業債残高

平成28年度	平成29年度（決算見込）			平成30年度		
年度末残高	償還額	借入額	年度末残高	償還額	借入額	年度末残高
24,391,452	2,590,144	1,000,000	22,801,308	2,600,356	1,356,500	21,557,452
			(対前年度比) △ 1,590,144			(対前年度比) △ 1,243,856



内部留保資金

	平成30年度	平成29年度 (決算見込)	増減
① 前年度からの繰越額	2,645,142	2,708,034	△ 62,892
② 補てん財源となる当年度純利益 (長期前受金戻入を除く)	1,190,805	1,798,666	△ 607,861
③ 損益勘定留保資金等	3,739,255	3,766,706	△ 27,451
<b>④ 当年度内部留保資金 (①+②+③)</b>	<b>7,575,202</b>	<b>8,273,406</b>	<b>△ 698,204</b>
↓ 補てん ↓			
⑤ 資本的収支不足額 (△)	△ 5,259,900	△ 5,628,264	△ 368,364
↓ 補てん後の残額 ↓			
⑥ 次年度への繰越額 (④+⑤)	2,315,302	2,645,142	△ 329,840